

「ツーリズム EXPO ジャパン 2017」特集

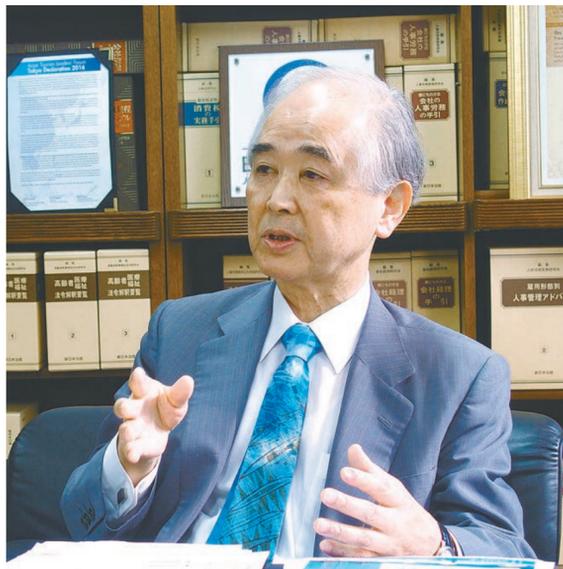
“B to B”イベント志向へ



日本政府観光局(JNTO) 松山 良一理事長



日本旅行業協会(JATA) 田川 博己会長



日本観光振興協会(日観振) 山口 範雄会長

田川 旅行需要自体はそれなりに堅調に推移している。同時にお客さまの動きが段々変わってきた。これは一団体から個人へという単純な図式ではなく、お客さまの選択が広がってきている結果だ。オンライン・トータルという仕組みが普及して、単純な移動に関しては、従来の旅行会社から扱っていきいことは否めないと思う。日本の中だけで競争している時代ではなくなっている。

また、インバンドがずいぶん増えているが、増勢の勢いというよりは2010年までは続く。大事なところは20年以降、潮が引くようになってはいる。そのための種をしっかりと用意しておくことが肝心だ。世界的に外国客の争奪、つまりグローバル競争というのがこの分野でもこれから激しくなる。それにしっかりと手を打つようにならなければいけない。

現在、国内観光をどう見ているか。本格的な人口減少社会の到来で地方経済もなかなか厳しい状態にあるが、観光というのはそういう地域経済にとって非常に大きな意味を持ってきている。地方創生といわれているが、鍵を握るのは観光であり、観光の果たす役割はますます重要になってきている。旅行そのものについては、単なる旅行ではなく、旅に何別の要素がしっかりと結びついて、その結びついたものを消費者が楽しみたいといういわゆるニューツーリズムへの関心がとても高まっている。

国内観光の現況

「ツーリズムEXPOジャパン2017」はホップ(14年)、ステップ(15年)、ジャンプ(16年)を得て、第2ステージの第1歩となる。主催者である日本観光振興協会(日観振)の山口範雄会長、日本旅行業協会(JATA)の田川博己会長、そして今年から主催者となった日本政府観光局(JNTO)の松山良一理事長にお集まりいただき、ツーリズムEXPOジャパンに賭ける思いを語っていただいた。司会は観光経済新聞編集長内井高弘(JATA本部)で。

ニューツーリズムに関心大 山口氏 旅行需要堅調も動きに変化 田川氏 観光ビジョンの実現に努力 松山氏

創ろう。ツーリズムの「新しいカタチ」。
—— 世界最大級 旅の祭典 ——



ツーリズムEXPOジャパン2017の、観光業界関係者向けロゴマーク

観光ビジョンについては3つの特徴がある。1つは、とにかく数値達成しようというのを左目標だったのだ。

松山 インバンドについては、13年に1千万人を達成した当時、20年の東京五輪・パラリンピック(オリパラ)では2千万人の高みを目標するというところまで走ってきた。16年3月に政府が「観光ビジョン」を作り、新たな目標を設定した。今はそれをどう実現するのかというのを官民挙げて取り組んでおり、昨年2400万人を超えた。

田川 キッズウィークを新設する話も出ています。業界として注目すべきであり、それによさしい受け皿をちゃんと作っていく必要がある。今後の動向に注目し、業界としても意見を述べていきたい。

落ち込んだ海外旅行もようやく底が打った感がある。その要因はオンライン・トータルとLCC(格安航空会社)の台頭だ。特に、LCCは地方空港に就航しており、結果、外国人も地方空港に来るようになった。逆に日本人も地方から外国へ行くケースも増えている。

ツーリズムEXPOジャパンに出展します。【東2ホール K-03】
皆さまのお越しをお待ちしております!

仲間が広がる、旅が深まる

クラブツーリズム

すべての「旅したい」を応援します。

KNT-CTホールディングス株式会社

地域を元気に、人を笑顔に。

JTB地球いきいきプロジェクト

「JTB地球いきいきプロジェクト」は、お客様や地域の皆様とJTBグループの社員が一緒になり、元氣な未来を創造していく活動です。

観光地をめくりながらお掃除をしたり、地域の文化を学びながら植樹をしたり。環境美化や、人と人との交流を通じて、そこに関わる全ての方々とともに「地域を元気に、人を笑顔に。」していきたいと考えています。

※このプロジェクトは、1982年から続く「観光地グリーンアップキャンペーン」を、2012年のJTB創立100周年を機に改称したものです。

(2016年度活動の一部) 第5回スポーツGOMI拾い大会 in TAMA Center

(2017年度活動の一部) 「緑、ゆたかな森づくり」六甲山系グリーンベルトでの森作り

この事業は「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)」が推奨する事業として認定を受けています。

2017年度のプログラムも続々登場。ぜひご参加ください。

JTB地球いきいき [検索](#)